

# 本人大会 実施要綱

だい かいぜんこく いくせいはいれんごうかい  
第1回全国手をつなぐ育成会連合会

ぜんこくたいかいしまね たいかいほんにんたいかい  
全国大会島根大会本人大会

へいさい だい かい たいかい  
(併催 第3回すまいる大会)

たいかい  
<大会スローガン>

おも かた かん あ  
「想いを語ろう 感じ合おう  
えん くに ゆめはっしん  
ご縁の国しまねから 夢発進」

きじつ へいせい ねん がつ にち ど にち にち  
<期日> 平成26年9月27日(土)～28日(日)

かいじょう しまね けんりつさんぎょうこうりゅうかいかん  
<会場> 島根県立産業交流会館(くにびきメッセ)

まつ え し がくえんみなみいちようめ ばん ごう  
松江市学園南一丁目2番1号

こうりゅうかい いちばた まつ え し ちどりちよう  
※交流会：ホテル一畑 松江市千鳥町30

# ごあいさつ

ほんにんたいかいじっこういんちょう  
本人大会実行委員長  
もりした かずと  
森下 和人

だい かいぜんこく て いくせいはいれんごうかいぜんこくたいかいほんにんたいかい しま ね けん  
第1回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会本人大会を島根県  
まつ え し かいさい  
松江市で開催することになりました。

わたし たいかい つぎ たいかい ねが と  
私たちは、この大会が次のような大会になることを願って、取  
り組んできました。

ぜんこく あつ みな たが ひ ごろおも  
・全国から集まってきた皆さんが、お互いに日頃思っていること  
だ あ かつぱつ はな あ  
を出し合い、活発に話し合いましょう。

ほんにんかつどう じょうほうこうかん ぜんこく ほんにんかつどう  
・本人活動について情報交換し、みんなで全国に本人活動をひろ  
げていきましょう。

ぜんこく なかま こうりゅう おも き たの  
・全国の仲間と交流して、思い切り楽しみましょう。

みず みやこまつ え しんじ こ ゆう ひ ゆうめい ちか えんむす  
水の都松江は、宍道湖の夕日としじみりが有名です。近くに縁結  
いずもたいしゃ かみがみ くに えん むす ころ ひと  
びの出雲大社もあります。神々の国しまねでご縁を結び、心を一  
つにして全国大会を盛り上げましょう。

『ゆるキャラしまねっかも、まっちょうけんね！』

たいかい きじつ      たいかいにっぴ      かいじょう  
**大会期日・大会日程・会場**

<small>がつ にち ど</small> 9月27日(土)		<small>がつ にち にち</small> 9月28日(日)	
<small>かいじょう</small> 会場：くにびきメッセ		<small>かいじょう</small> 会場：くにびきメッセ	
9:30	<small>うけつけ</small> 受付	8:30	<small>うけつけ</small> 受付
10:30	<small>はっぴょう</small> 発表 <small>しょうがいしゃけん りじょうやく</small> 「障害者権利条約について」	9:00	<small>ぜんたいかいぎ</small> 全体会議 <small>たいかいじっこう いんちようあいさつ</small> ・大会実行委員長挨拶 <small>ぶんかかいほうこく</small> ・分科会報告 <small>ほんにんたいかいけつぎ</small> ・本人大会決議
12:00	<small>ちゅうしょく きゅうけい</small> 昼食・休憩	9:45	<small>きゅうけい</small> 休憩
13:00	<small>ぶんかかい</small> 分科会 ・第1分科会「働く」 ・第2分科会「暮らす」 ・第3分科会「本人活動」	10:00	<small>ゆめ</small> 夢ステージ
16:00	<small>ぶんかかいしゅうりょう</small> 分科会終了	11:50	<small>じきかいさいちあいさつ</small> 次期開催地挨拶
18:00	<small>こうりゅうかい</small> 交流会 <small>かいじょう いちばた</small> ※会場：ホテル一畑	12:00	<small>へいかい</small> 閉会
20:00	<small>こうりゅうかいしゅうりょう</small> 交流会終了		

※第4分科会「思い出づくり」観光(10:30~16:00)

だい かい ぜんこく て いくせいかいれんごうかいぜんこくたいかい  
**第1回 全国手をつなぐ育成会連合会全国大会**

はっ びょう  
**発表 (9/27 10:30~12:00)**

ぶん か かい  
**分科会**

テーマ	内 容
しょうがいしゃけんりじょうやく <b>障害者権利条約について</b>	「わかりやすい権利条約の本： 私はここにいます」の紹介と その作成についての発表

はっぴょうしゃ かんこくはつたつしょうがいしゃかぞくきょうかい  
**発表者 韓国発達障害者家族協会 (K I F D)**

かいじょう  
**会 場 くにびきメッセ3F 国際会議場**

だい ぶん か かい おも で かんこう  
**第4分科会「思い出づくり」観光 (10:30~16:00)**

9:30	うけつけ <b>受付</b> (くにびきメッセ1F大展示場)
【コース】	
10:30 発	くにびきメッセ ↓ しまね 島根ワイナリー (昼食) ↓ まつえ 松江フォーゲルパーク ↓
16:00 着	くにびきメッセ

	テーマ
だい ぶん か かい <b>第1分科会</b>	はたら 働く
だい ぶん か かい <b>第2分科会</b>	く 暮らす
だい ぶん か かい <b>第3分科会</b>	ほんにんかつどう <b>本人活動</b>

しまねたいかいほんにんたいかい はっぴょう ぶんかかい ないよう  
**島根大会本人大会 発表・分科会の内容**

(9/27 13:00~16:00)

とうぎ ないよう 討議内容	しかいしゃ 司会者	はっぴょうしゃ 発表者	かいじょう 会場
<ul style="list-style-type: none"> <li>働く目的はなんですか</li> <li>休憩時間は何をしていますか</li> <li>仕事で頑張ったこと、苦労したことは？</li> <li>仕事で困ったとき、相談するところがありますか</li> </ul>	<p>まつえして いくせいかい  <b>松江市手をつなぐ育成会</b></p> <p>つどいの会 吉岡直美</p> <p>まつえして いくせいかい  <b>松江市手をつなぐ育成会</b></p> <p>つどいの会 佐藤益孝</p>	<p>ひろしま かい  <b>広島フレンドの会</b></p> <p>ふくかいちよう うてよしのり  <b>副会長 右手義則</b></p> <p>していしょうがいふくし しぎょうしよ  <b>指定障害福祉サービス事業所</b></p> <p>おきなわ工房  <b>島袋善行</b></p> <p>なごや いくせいかいせいねん かい  <b>名古屋育成会青年の会</b></p> <p>ふくかいちよう まえだ あきら  <b>副会長 前田 明</b></p>	<p>くにびきメッセ国際会議場</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>将来のことについて話し合おう</li> <li>自分でできることは何ですか</li> <li>生活の中で工夫していること(心がけていること)はありますか</li> <li>困ったとき誰に相談しますか</li> </ul>	<p>まつえして いくせいかい  <b>松江市手をつなぐ育成会</b></p> <p>つどいの会 森脇 悠</p> <p>まつえして いくせいかい  <b>松江市手をつなぐ育成会</b></p> <p>つどいの会 安井香里</p>	<p>しゃかふくしほうじんかがわけて いくせいかい  <b>社会福祉法人香川県手をつなぐ育成会</b></p> <p>ほんにん かい ゆめ つばさ かいいん  <b>本人の会『夢の翼』会員</b></p> <p>はしもとまさよし  <b>橋本正善</b></p> <p>ぐんまけん その  <b>群馬県のぞみ園</b></p> <p>ひなん ゆうあいかいりようしゃ  <b>避難(友愛会利用者)ぴいす</b></p> <p>いわま ひでゆき  <b>岩間英行</b></p> <p>おおさか かい  <b>大阪ともだちの会</b></p> <p>どい とおる  <b>土井 徹</b></p>	<p>くにびきメッセ501大会議室</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな本人活動をしていますか</li> <li>これからどんな活動をしてきたいですか</li> <li>本人活動で工夫していること、苦労したこと</li> <li>自分達でできること、支援者に協力してもらうこと</li> </ul>	<p>やすぎして いくせいかい  <b>安来市手をつなぐ育成会</b></p> <p>ばんどうしんじ やすぎ  <b>板東真治(安来)</b></p> <p>やすぎして いくせいかい  <b>安来市手をつなぐ育成会</b></p> <p>しのだよしこ やすぎ  <b>篠田佳子(安来)</b></p>	<p>まつえして いくせいかい  <b>松江市手をつなぐ育成会</b></p> <p>つどいの会  <b>会長 森下 和人</b></p> <p>おおさか かい  <b>大阪ともだちの会</b></p> <p>かいちよう まえかわしんいち  <b>会長 前川真一</b></p> <p>かんこくはつたつしやうがいしや かぞくまうかい  <b>韓国発達障害者家族協会</b></p>	<p>くにびきメッセ601大会議室</p>

# はっ びょう 〔発 表〕

## しょうがいしゃけん り じょうやく テーマ／障害者権利条約について

内容／「わかりやすい権利条約の本：私はここにいます」の紹介とその作成についての発表

### かんこくはったつしょうがいしゃきょうかい しょうかい 【韓国発達障害者協会の紹介】

かんこくはったつしょうがいしゃきょうかい ねん せつりつ ちてきしょうがいしゃおよ はったつしょうがいしゃ  
韓国発達障害者協会は2005年に設立され、知的障害者及び発達障害者とその  
かぞく けんり ようこ きょうか せいさくてきけんきょう じっし かく  
家族の権利を擁護し、強化するための政策的研究を実施してきました。また学  
じつ かん きょうりょく じこけつてい じんけん たい りかい そくしん はか ち  
術機関と協力して、自己決定や人権に対する理解の促進を図っています。知  
てき はったつしょうがい こ ほごしゃ たいしゅう  
的・発達障害のある子どもの保護者を対象としたファミリー・キャンプを実施  
し、親の役割について学ぶ機会を提供するとともに、親がエンパワーメントさ  
れることを目指しています。ほんにんかつどう しょうてん あ かつどう ちから い  
ることを目指しています。本人活動に焦点を当てた活動にも力を入れてお  
り、ほんにんかつどう せいきょういくなつきょう きょういくてき じんぎょうげき しんゆう など とお  
り、本人活動プログラム、性教育学級、教育的な人形劇「親友」等を通して、  
とうじしゃ しょうがいにしき せいてきけんり りかい そくしん けいぞくてき とく  
当事者の障害認識や性的権利についての理解の促進のため継続的に取り組んで  
います。

かんこく しょうがいしゃ さべつきんしほう せいとい いらい しょうがいしゃ たい にんしき こう  
韓国において障害者差別禁止法が制定されて以来、障害者に対する認識は向  
じょう しゃかい しょうがい ちが じんしき かぞく せんちゅう しょう  
上してきており、社会で障害が「違い」として認識され、家族が尊重され、障  
がいしゃ じこけつてい たいせつ じりつ ひと い しゃかい めざ  
害者の自己決定が大切にされて自立した人として生きいける社会を目指してい  
ます。

しゃかいふくしほうじんぜんにつぼんて いくせいかい とうじ こうりゅう ねん がつ かん  
社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会（当時）との交流は、2007年10月に韓  
こく かいさい だいいちいかんこく にほんちてきしょうがいしゃおよ はったつしょうがいしゃ かぞくこくさいこうりゅうたいかい  
国で開催された第一回韓国・日本知的障害者及び発達障害者家族国際交流大会  
に、かねこふくりじょうとうじ よだりじ しょうたい う にほん とく  
に、金子副理事長（当時）、依田理事などが招待を受け、日本の取り組みにつ  
いての発表、関連施設見学、交流会などを行ったことに始まりました。

また2012年5月21日には、よだりじ じむきょく きょうかい じむきょく ほうもん こくさいいく  
依田理事や事務局が協会事務局を訪問し、国際育  
せいはいれんめい  
成会連盟のグローバル・レポートのテーマであった「障害者の権利条約」第19  
じょう ほごしゃ ほんにん じっし せい か こくさいいくせいはい  
条について、保護者や本人とワークショップを実施し、その成果を国際育成会  
れんめい ていしゅう ちようせい どうねん かいさい  
連盟に提出するなど調整をおこないました。同年ワシントンDCで開催された  
こくさいいくせいはいれんめい ほんにんだいりゅう  
国際育成会連盟のグローバル・フォーラムには、本人代表としてワン・ムー・  
りーさんが参加し、かんこくばん しょうがいしゃ けんりじょうやく はっぴょう おこ  
韓国版わかりやすい障害者の権利条約について発表を行な  
いました。このフォーラム期間中は、きかんちゅう いくせいかい ほんにん とも こうどう  
いきました。このフォーラム期間中は、育成会から参加した本人たちと共に行動  
し、交流を深めることもできました。

こんかい だいいっかいぜんにつぼんて いくせいはいれんこうかいぜんこくたいかいしまねたいかい むか  
今回、第一回全日本手をつなぐ育成会連合会全国大会島根大会にお迎えでき  
たことは大変喜ばしいことです。今回も皆さんに色々とおし  
りゅう がた ねが  
流できれば有り難いです。どうぞよろしくお願ひします。

1. '権利スタディーチーム' 説明

- '韓国発達障害者家族研究所' で私たちの権利を学び、習ったものを本当に話したり、行動したりするための集まり
- '権利スタディーチーム' は分かりやすい障害者権利条約 '私はここにいます' という本を作る

2. '権利スタディーチーム' で権利を習う人たち

- 人数：5人（発達障害者5人）

3. 権利スタディーチームが願うこと

- 私の権利が何なのか、自ら習い、難しい言葉を分かりやすい言葉に直す
- 私達のような発達障害者に権利を教え、発達障害者らが他の人と交じって生きること

4. 権利スタディーチームが今までしてきたこと

○2011年	8月	- '分かりやすい障害者権利条約の製作委員会' の委員として活動を開始
	11月	- 自分の力で生きて行くこと学ぶための我らの初めてのキャンプ（仁川長峰恵林再活院）



○2012年	5～11月	－ 分かりやすい放送字幕作り
	5月	－ 初めて発達障害者法ができたことに対する私たちの考えを書いて発表
	9月	－ ‘私の権利を探る旅’ の集まりで私たちの権利宣言文を発表 － APDF障害と人権TALKの集まりで ‘私たちの権利’ を発表
	10月	－ Inclusion Internationalカンファレンスで韓国発達障害者の分かりやすい権利協約書を作る活動を紹介
○2013年	3月	－ 発達障害者法の討論会で私たちの考えを発表
	4月	－ 極東放送で私たちの権利について報告
	10月	－ 分かりやすい障害者権利協約 ‘私はここにいます’ の本の発表会
	11月	－ 自分で生きていくことを習うための私たちの二回目のキャンプ (仁川長峰恵林再活院)

## 5. 私たちがしている活動

- 1週に1回権利に対して勉強
- 新聞やインターネットに出る私たちの権利に関する私たちの考えを話す
- 自分の苦しくて大変なことを話しながらお互いに助け合う
- 仲間と話しながらしたいことをする
- 発達障害者に自分の権利を教える

## 6. 分かりやすい障害者権利条約 ‘私はここにいます’ 作りの説明

- 本を作る理由： ‘UN障害者権利条約’ を分かりやすく作り、自分の権利をよく知り、世の中で自信を持って生きていくためのもの

- 本を作った期間：2011.3～2013.10
- 本を作った人：私たち発達障害者5人
- 分かりやすい障害者権利条約の本作りが私たちに大事な理由



- ① 発達障害者が自分の権利をよく分からず、人々に利用されたり損害されたりすることはあってはならない
- ② 私たちがこの本を作る過程で、発達障害者も力を合わせれば発達障害者のための仕事ができるとの自信を持つようになった
- ③ 分かりやすい障害者権利条約の本の発表会、討論会のような発達障害者の当事者活動を増やさなければならない。また、発達障害者がどのように生きて行きたいのか世の中の人々に紹介する。

# 本人大会 分科会

# だい ぶん か かい 第1分科会

## テーマ / 働 く

---

し かいしゃ よしおか なおみ まつ え し  
司会者 吉岡 直美 (松江市)

さ とう ますたか まつ え し  
佐藤 益孝 (松江市)

はつびょうしゃ う て よしのり ひろしまけん  
発表者 右手 義則 (広島県)

しまぶくろ よしゆき おきなわけん  
島袋 善行 (沖縄県)

まえだ あきら あい ち けん  
前田 明 (愛知県)

## とう ぎ ないよう 【討議内容】

---

- 働 く 目的はなんですか
- 休憩時間は何をしていますか
- 仕事で頑張ったこと、苦勞したことは？
- 仕事で困ったとき、相談するところがありますか

# 第1分科会 「働く」について

フレンドの会 **うて** **右手** **よしのり** **義則**

僕は現在、広島大学の職員として環境整備の仕事をしています。5年前、それまで住んでいた広島県福山市から、支援者のYさんからの紹介で広島大学で働くために広島市に移り住み、現在アパートを借りて一人暮らしをしています。福山市に住んでいる時には作業所も含めて、運送会社、自転車卸会社等7回仕事をかわりました。転職の理由は会社の都合で解雇されたこともありました。が夜遅くまで残業させられたり、保険がなかったり、給与が安かったり労働の条件が悪かったためです。今、働いている広島大学は仲間もいて、とても働きやすい頑張れる環境にあります。一生懸命頑張って、仲間を指導できる技術指導員になることが今の目標です。今、働いている広島大学について少し説明をします。

勤務時間は午前9時から午後4時迄の6時間勤務です。土、日、祝日は休みで残業はありません。休暇は有給休暇、特別有給休暇、特別無給休暇があり、健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険も完備され、他の広島大学職員と一緒に、給与も最低賃金より少しよく、交通費も全額支給です。広島大学では知的障害者の仲間が22名働いています。働く場所は東広島市にある大学本部をはじめ五か所に分かれています。僕が働いている場所は広島市内にある歯学部です。仕事の内容は4連の建物内のゴミ収集や講義室、自習室、階段、廊下等の清掃をしています。僕を含めて6名の仲間と技術指導員2名、支援調整員1名の体制です。毎年、歯学部内がきれいになったと学部長から感謝状をもらっています。個人的なことですが、3年前6日間休みをもらって全国障害者スポーツ大会山口大会に広島代表としてフライングディスクの部で金メダルを取った時には広島大学の学長から表彰を受けました。今年も11月に長崎で開催

される<sup>ぜんこくしょうがいしゃ</sup>全国障害者スポーツ大会に<sup>たいかい ひろしまだいひょう</sup>広島代表として<sup>えら</sup>選ばれました。又、<sup>また がくちょう</sup>学長から  
<sup>ひょうしょう う</sup>表彰を受けたいと思ひ、<sup>おも</sup>一生懸命練習<sup>いっしょうけんめいれんしゅう</sup>をしています。広島大学では<sup>ひろしまだいがく</sup>仕事<sup>しごと</sup>だけで  
なく、<sup>ぼく</sup>僕たちが<sup>がんば</sup>頑張っている<sup>こと</sup>事に対して<sup>おうえん</sup>も応援<sup>おうえん</sup>してくれます。

今回、<sup>こんかい</sup>僕が<sup>ぼく</sup>「働く」<sup>はたら</sup>ことについて、<sup>つた</sup>みんなに伝えたい<sup>つた</sup>ことは、これまでの<sup>けい</sup>経  
<sup>けん</sup>験から<sup>たいせつ</sup>大切な<sup>ひと</sup>ことが<sup>め</sup>3つあります。一つ目は<sup>ひとたち</sup>職場の人達<sup>ぼく</sup>が僕たちの<sup>しょうがい</sup>障害の<sup>こと</sup>こと  
をよく<sup>りかい</sup>理解<sup>ふた</sup>している<sup>め</sup>こと。二つ目は<sup>なん</sup>何でも話せる<sup>はな</sup>仲間<sup>なかま</sup>がいて、<sup>よ</sup>余暇<sup>か</sup>が<sup>じゅうじつ</sup>充実<sup>じつ</sup>して  
いる<sup>こと</sup>こと。三つ目は<sup>み</sup>困った<sup>め</sup>時<sup>こま</sup>に<sup>とき</sup>いつでも<sup>そうだん</sup>相談<sup>ひと</sup>できる<sup>ひと</sup>人がいる<sup>こと</sup>ことです。この3  
<sup>てん</sup>点<sup>はたら</sup>が働<sup>つづ</sup>き続ける<sup>たいせつ</sup>ためには<sup>おも</sup>大切な<sup>おも</sup>ことだと思ひます。是非、<sup>ぜ ひ</sup>参考<sup>さんこう</sup>にして<sup>くだ</sup>下さい。

# 第1分科会 「働くこと」

おきなわ工房

しまぶくろ  
島袋

よしゆき  
善行

僕は、沖縄高等支援学校を卒業したころは、何もする気になれず、しばらく遊んでいる生活をしていました。そんな生活を送っている時に兄に「いつまで遊んでいる」と怒られ兄が働いている総合管理会社で働かせてもらうことになりました。その会社では、ビルや公園の清掃、住宅の解体作業など、いろんな仕事がありました。仕事を始めたころは、兄がいろいろと教えてくれました。また、離島や行ったことがないところに行けるのでとても楽しく働いていました。ところがせっかく仕事にも慣れたころに会社の人が仕事を命令するようになりきつい仕事ばかり押しつけるので僕は我慢が出来なくなりその会社を一年ぐらいで辞めてしまいました。その後しばらくは、人に会うことや働くことがいやになり家に閉じこもっていることが多くなりました。そんな時にもう一人の兄の誘いもあり「おきなわ工房」へ通うことになりました。「おきなわ工房」は、僕と同じ年代の人達がたくさんいて知っている友達もいたのですぐに溶け込むことが出来ました。「おきなわ工房」では皮革を使った根付けやお守り、ガラス玉と星の砂を使ったオリジナルストラップを年間で二万个近く作っています。僕が今任されている作業は機械を使ってガラスに穴をあける作業や、選別した星の砂に色を付ける作業です。以前の会社みたいに体力を使って外で動き回ることはないですが、細かい作業が多く集中しないとガラス玉にキズを付れたり割ってしまうことがあるのでとても大変な作業です。僕が作業をしていつも心掛けていることは、よく支援員に言われている「職人になりなさい」という言葉です。僕は飽きっぽい性格だと思っています。だから支援員から言われる言葉は、きっと「当たり前前（あたいまえ）のことが、当たり前前（あたいまえ）で出来るようになりなさい」と言われているように感じます。僕は「おきなわ工房」で働く

ようになり<sup>まえ</sup>前の<sup>かいしゃ</sup>会社<sup>きゅうりょう</sup>のようにはたくさんの<sup>もら</sup>給料<sup>を</sup>貰<sup>わ</sup>なくなりましたが、みんなと<sup>たの</sup>楽しく<sup>し</sup>仕事<sup>こと</sup>が出来る<sup>でき</sup>ことを<sup>うれ</sup>嬉しく<sup>おも</sup>思います。また、<sup>き</sup>機械<sup>つか</sup>を使って<sup>さぎょう</sup>の作業<sup>を</sup>任<sup>ま</sup>せて<sup>もら</sup>貰<sup>っ</sup>ているのでとても<sup>じしん</sup>自信<sup>に</sup>なっています。僕は、<sup>ぼく</sup>家<sup>いえ</sup>に一人<sup>ひとり</sup>でいるより何<sup>なん</sup>でも<sup>はな</sup>話し<sup>あ</sup>合<sup>な</sup>える<sup>なかま</sup>仲間<sup>と</sup>と<sup>さぎょう</sup>作業<sup>す</sup>するのが好き<sup>す</sup>です。今の<sup>いま</sup>僕<sup>ぼく</sup>にとって<sup>はたら</sup>の働く<sup>い</sup>意味<sup>み</sup>はそんな<sup>なかま</sup>仲間<sup>たの</sup>と<sup>じかん</sup>楽しい<sup>す</sup>時間を<sup>かん</sup>過ごす<sup>こと</sup>だと<sup>かん</sup>感じて<sup>い</sup>ます。また、僕は「おきなわ<sup>こうぼう</sup>工房<sup>はい</sup>」に入<sup>い</sup>って<sup>つづ</sup>からず<sup>つづ</sup>っと<sup>つづ</sup>スポーツ<sup>を</sup>続<sup>つづ</sup>けて<sup>い</sup>ます。これまで<sup>バスケット</sup>バスケット<sup>ボール</sup>や<sup>サッカー</sup>サッカーで<sup>おきなわけんたいひょう</sup>沖縄県代表<sup>きゅうしゅうたいかい</sup>として九州大会<sup>さんか</sup>にも<sup>ねん</sup>参加<sup>か</sup>しました。2009年<sup>ねん</sup>には<sup>スペシャルオリンピックス</sup>スペシャルオリンピックス<sup>とうき</sup>冬季<sup>せ</sup>世界<sup>せ</sup>大会<sup>たいかい</sup>で<sup>フロアホッケー</sup>フロアホッケーの<sup>にほんたいひょう</sup>日本代表<sup>として</sup>として<sup>ア</sup>アメリカ<sup>い</sup>に行<sup>き</sup>金<sup>きん</sup>メダル<sup>と</sup>を取<sup>と</sup>りました。そして<sup>ことし</sup>今年<sup>ねん</sup>は、<sup>ねんまえ</sup>2年前<sup>ちよきん</sup>から<sup>た</sup>貯金<sup>ちよきん</sup>をして<sup>た</sup>貯<sup>た</sup>めた<sup>かね</sup>お金<sup>まいとし</sup>で、<sup>毎年</sup>毎年<sup>おこな</sup>おこな<sup>わ</sup>れている<sup>とうきょう</sup>東京<sup>こまざわ</sup>の駒沢<sup>こうえん</sup>オリンピック公園<sup>かいさい</sup>で<sup>開催</sup>開催<sup>された</sup>された<sup>ぜん</sup>全日本<sup>ほんしやうがいしや</sup>障害者<sup>きやうぎたいかい</sup>フライング<sup>しえんいん</sup>ディスク<sup>いっしょ</sup>競技<sup>はじ</sup>大会<sup>さんか</sup>にも<sup>支援</sup>支援員<sup>と</sup>と<sup>一緒</sup>一緒に<sup>初めて</sup>初めて<sup>参加</sup>参加<sup>しま</sup>しま<sup>した</sup>した。大会<sup>たいかい</sup>では<sup>こじんきやうぎ</sup>個人<sup>じ</sup>競技<sup>こしん</sup>の<sup>きろく</sup>ディス<sup>ろく</sup>タンス<sup>ろく</sup>で<sup>な</sup>自己<sup>い</sup>新<sup>い</sup>記録<sup>きん</sup>の<sup>と</sup>43<sup>と</sup>メ<sup>と</sup>ートル<sup>と</sup>を<sup>な</sup>投<sup>な</sup>げ<sup>な</sup>4<sup>な</sup>位<sup>い</sup>で<sup>い</sup>ましたが、<sup>だんたいきやうぎ</sup>団体<sup>い</sup>競技<sup>きん</sup>の<sup>と</sup>ア<sup>と</sup>キュ<sup>と</sup>ラシー<sup>と</sup>は<sup>と</sup>1<sup>と</sup>位<sup>と</sup>になり<sup>と</sup>金<sup>きん</sup>メ<sup>と</sup>ダル<sup>と</sup>を取<sup>と</sup>りました。僕は「おきなわ<sup>こうぼう</sup>工房<sup>はい</sup>」に入<sup>い</sup>って<sup>じぶん</sup>自分<sup>せいかく</sup>の<sup>あか</sup>性格<sup>なん</sup>が<sup>まえ</sup>明<sup>む</sup>る<sup>む</sup>くなり<sup>む</sup>ました。また<sup>なん</sup>何<sup>まえ</sup>でも<sup>む</sup>前<sup>む</sup>向<sup>む</sup>きに<sup>おも</sup>チャ<sup>おも</sup>レンジ<sup>おも</sup>したい<sup>おも</sup>と思<sup>おも</sup>う<sup>おも</sup>よう<sup>おも</sup>になり<sup>おも</sup>ました。僕は、<sup>ぼく</sup>もし<sup>ぼく</sup>か<sup>ぼく</sup>したら<sup>ぼく</sup>、<sup>いっ</sup>また<sup>いっ</sup>一<sup>いっ</sup>般<sup>いっ</sup>の<sup>いっ</sup>会社<sup>いっ</sup>で<sup>いっ</sup>働<sup>いっ</sup>きたい<sup>いっ</sup>と思<sup>いっ</sup>う<sup>いっ</sup>か<sup>いっ</sup>もし<sup>いっ</sup>れ<sup>いっ</sup>ま<sup>いっ</sup>せん。それ<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>で<sup>い</sup>き<sup>い</sup>る<sup>い</sup>こ<sup>い</sup>を<sup>い</sup>一<sup>い</sup>生<sup>い</sup>懸<sup>い</sup>命<sup>い</sup>や<sup>い</sup>っ<sup>い</sup>て、<sup>い</sup>も<sup>い</sup>っ<sup>い</sup>と<sup>い</sup>出<sup>い</sup>来<sup>い</sup>る<sup>い</sup>事<sup>い</sup>を<sup>い</sup>増<sup>い</sup>や<sup>い</sup>し<sup>い</sup>て<sup>い</sup>き<sup>い</sup>たい<sup>い</sup>です。そして、<sup>ちよきん</sup>貯金<sup>がん</sup>を<sup>ぼく</sup>頑<sup>ぼく</sup>張<sup>ぼく</sup>つ<sup>ぼく</sup>て、<sup>つぎ</sup>次<sup>ぜん</sup>に<sup>ぜん</sup>全<sup>ぜん</sup>日本<sup>ほんしやうがいしや</sup>障<sup>ぜん</sup>害<sup>ぜん</sup>者<sup>ぜん</sup>フ<sup>ぜん</sup>ライ<sup>ぜん</sup>ン<sup>ぜん</sup>グ<sup>ぜん</sup>デ<sup>ぜん</sup>ィ<sup>ぜん</sup>ス<sup>ぜん</sup>ク<sup>ぜん</sup>大<sup>ぜん</sup>会<sup>ぜん</sup>に<sup>ぜん</sup>参<sup>ぜん</sup>加<sup>ぜん</sup>す<sup>ぜん</sup>る<sup>ぜん</sup>時<sup>ぜん</sup>に<sup>ぜん</sup>は、<sup>たいかい</sup>デ<sup>さんか</sup>ィ<sup>さんか</sup>ス<sup>さんか</sup>タ<sup>さんか</sup>ン<sup>さんか</sup>ス<sup>さんか</sup>大<sup>さんか</sup>会<sup>さんか</sup>に<sup>さんか</sup>参<sup>さんか</sup>加<sup>さんか</sup>す<sup>さんか</sup>る<sup>さんか</sup>時<sup>さんか</sup>に<sup>さんか</sup>は、<sup>きやうぎ</sup>デ<sup>い</sup>ィ<sup>い</sup>ス<sup>い</sup>ク<sup>い</sup>大<sup>い</sup>会<sup>い</sup>に<sup>い</sup>参<sup>い</sup>加<sup>い</sup>す<sup>い</sup>る<sup>い</sup>時<sup>い</sup>に<sup>い</sup>は、<sup>だいす</sup>デ<sup>ひとたち</sup>ィ<sup>おおさか</sup>ス<sup>おおさか</sup>タ<sup>おおさか</sup>ン<sup>おおさか</sup>ス<sup>おおさか</sup>大<sup>おおさか</sup>会<sup>おおさか</sup>に<sup>おおさか</sup>参<sup>おおさか</sup>加<sup>おおさか</sup>す<sup>おおさか</sup>る<sup>おおさか</sup>時<sup>おおさか</sup>に<sup>おおさか</sup>は、<sup>りよこう</sup>旅<sup>い</sup>行<sup>い</sup>に<sup>い</sup>き<sup>い</sup>たい<sup>い</sup>と思<sup>おも</sup>い<sup>おも</sup>ます。



# 第1分科会 定年後の働く場所

せいねん かいふくかいちよう  
青年の会副会長

まえだ  
前田

あきら  
明

私は今、名古屋にある東邦ガス株式会社に勤め、今年で34年になりますが、来年9月いっぱい（35年）で定年になります。祖父や母が勤めていたため、私の母校、愛知県岡崎市にある愛知教育大学附属養護学校の高等部（昭和50年3月）卒業後、すぐに行きたいと希望を持ちましたが、母が「今はまだ障害者の人たちを採用していないから明には無理だよ。」といわれたので最初は、高等部の後期の職場実習でお世話になった無電テレビ工業株式会社へ4月から入社しました。射出成型の担当で、機械から流れて来るプラスチックの部品のバリ取りをしました。作っている物は、テレビのアンテナや電卓でした。手や足の動作が鈍く毎日のように同僚や上司から何度も注意をされました。2年8か月で人員整理になりました。その後、家の手伝いで、風呂焚き用の薪割りや店番（当時タバコ屋を経営していたため）、縁側の雑巾掛け、祖母が病院で入院していた為、介護を続けており3～4ヶ所程、職場をかわって5年後の昭和55年5月19日に途中入社で今の東邦ガス株式会社に採用されました。

現在の仕事は、一般廃棄書類や機密書類の古くなったものがたまったら業者のトラックへ出荷する作業やホール・会議室の設営（国旗・社旗「会社のシンボルマーク」・看板）の取り付け、各部署の古新聞・古雑誌回収整理・各部署の什器備品・消耗品などの依頼（支給・取替・借用・返却）を受けた時の準備、数量確認、見直し、構内清掃、事務机・事務椅子の雑巾掛け、会議室の備品確認、書類箱の配布などしています。以前は、大型シュレッダーで紙を切ったり、壊れかけた机・椅子・ロッカーの解体、裁断紙の袋詰め、会議室の間仕切りの開閉などもやっておりました。休憩時間は、作業日誌を書いたり、パソコンで相手の電子メールをみたり、送ったり、会議室・ホールの1ヶ月の予定

ひょう み す  
表を見たりして過ごしています。

ていねん こ いま どうよう けいぞく とうほう しかば こうないせいそう かいじょう せつえい でき  
定年後も今と同様、継続で東邦ガスの職場で構内清掃や会場の設営など出来  
たらいいな。もし駄目なら、いくせいかい おな よう し こと  
育成会で同じ様な仕事がしたいという気持ちで  
いっぱいです。その為にはため しかば じょうし どうりょう いくせいかい しかいん しえんしゃ  
職場の上司や同僚、もしくは育成会の職員や支援者  
と相談して決めたいと思いました。

し こと ほか とうほう にかいしゃ さいかい あら はじ しゅみ つづ  
仕事の他に東邦ガスに入社してから再開したり、新たに始めた趣味も続けた  
いと思っております。 にかいしゃ とし いあんりょこう ひ じょうし うれ はなし  
入社した年の慰安旅行の日、上司から嬉しい話があり  
ました。「前田君は、なに しゅみ  
何か趣味がありますか。」と聞かれましたので、「わたし え  
私は絵  
を描く事が好きです。」と答えました。「この会社にもかいがぶ  
絵画部がありますから紹  
介しましょう。」といわれてかいがぶ せんせい ぶいん かた じょうし しょうかい いただ  
絵画部の先生と部員の方を上司から紹介して頂き  
ました。いっしょ え まな こと うれ へいせい ねん みな おうえん  
一緒に絵を学ぶ事ができて嬉しいです。平成10年には、皆さんに応援  
して頂いたお陰で絵の個展が開催出来た事、スケッチ旅行に年2回参加できた  
こと ぶいん かた びじつかん しゅびん でき こと じん こうし せわ  
事。部員の方といっしょに美術館で出品出来た事。3人の講師にお世話になっ  
た事。モデルさんにあえた事。うれ へいせい ねん がつ  
嬉しかった。平成24年2月からモデルさんの都  
合でかいがぶ へいさ ざんねん げんざい さいしょ せわ  
絵画部が閉鎖になりとても残念でしたが、現在、最初のころお世話になっ  
た講師の家で絵を学ぶ事が出来てとても嬉しいです。こま ところ いっしょうけんめい し  
細かな所まで一生懸命指  
導をして下さるので最高です。

おな へいせい ねん しょうどう はいく にも にかいぶ いただ  
同じ平成10年ごろからまた2つのクラブ（書道・俳句）にも入部させて頂  
き、いそが べんきょう  
忙しいけれどよい勉強になっています。はいく じぶん つく ぎんこう  
俳句は、自分で作ったり、吟行に  
でかけたり、しょうどう はんし はんせつ ぜんし かいしょ ぎょうしょ そうしょ か れんしゅう  
書道は、半紙のほかに半切・全紙に楷書や行書・草書を書く練習  
をしたりして楽しんでます。できる事なら ていねん こ つづ いくせいかい  
定年後も続けて行きたい気持ちで  
す。

もう1つうれ へいせい ねん こうせいろうどうだいじんしょう じゅうご こうきょ てん  
嬉しかったのは、平成11年に厚生労働大臣賞を受賞後、皇居で天  
皇・皇后両陛下に拝謁した事です。てんのうへい か  
天皇陛下からは、「これからもしょうがい ま  
障害に負け  
ずしっかり頑張ってください。」といわれました。生まれて間もなくのうせい ま ひ  
脳性麻痺  
になり、てあし おも うご ふじゆう  
手足が思うように動かず不自由になりました。まいにちゆうえん ち い てつ  
毎日遊園地に行つて鉄  
棒やうんていにぶらさがったりして、みな ま  
皆に負けないように頑張っていました。

いまでも、細かい作業は得意ではありませんが、皆さんに支えてもらいながら努力を続けています。

休みの日は、青年の会活動や青年教室のボランティアを楽しませて頂いております。皆さん、今後ともよろしくお願ひします。

# だい ぶん か かい 第2分科会

## テーマ／<sup>く</sup>暮らし

---

しかいしゃ 司会者	もりわき 森脇	ゆう 悠	まつえし (松江市)
	やすい 安井	かおり 香里	まつえし (松江市)
はつびょうしゃ 発表者	はしもと 橋本	まさよし 正善	かがわけん (香川県)
	いわま 岩間	ひでゆき 英行	ぐんまけん (群馬県)
	どい 土井	とおる 徹	おおさかふ (大阪府)

## とうぎ ないよう 【討議内容】

---

- ・ しょうらい のことについて はな あ 話し合おう
  - ・ じぶん でできることは なに 何ですか
  - ・ せいかつ のなか で工夫していること (こころ がかけていること)
- はありますか
- ・ こま 困ったとき だれ そうだん 誰に相談しますか

## 第2分科会

## 「私の生活について」

かがわけんて いくせいかいほんにん かい ゆめ つばさ  
香川県手をつなぐ育成会本人の会 『夢の翼』

はしもと まさよし  
橋本 正善

みなさんこんにちは、今から私の生活についての発表を始めたいと思います。私は今、グループホームで生活しています。しかし、それまでは、いろいろなところで、いろいろな生活してきました。私が生まれたのは昭和40年、父、母と親子3人で暮らしていました。いいえ、詳しく言えば当時は、お金に困っており、親子そろって親戚の家の一室を間借りして、暮らしていました。肩身はせまい思いをしましたがそれでも、両親がいろいろなところに連れていってくれ、みんなそろって買い物をしたり、食事をしたりして、とても楽しかった思い出があります。

小学校も中学校も特殊学級に通って通っていました。学校での生活はあまりいい思い出がありません。なぜなら、周りの子にくらべて、勉強の得意でなかった私は、ほとんど毎日いじめられて、時には、プロレス技をかけられることもありました。学校に行きたくなかったので、だんだんと、休みが増えていき、家と閉じこもるようになりました。けれど、小学校4年生のある日、泉川という先生が家までやってきて学校に来るように言ってくれ、それから学校でいじめられていても必ず助けてくれました。

中学に上がってからも、いじめはなくなり、もっともっと暴力を振るわれるようになっていきました。頼りのぶんしろ先生はもういないし、また嫌な毎日が始まると思っていましたが、今度は 釜野先生という女性の先生がいつもいじめられている私を助けてくれました。

このお二人がいなければ私は学校に行けなかったと思います。今でも心から感謝しており、できることならば会ってお礼を言いたいと思っています。

ちょうどこのころ、妹が生まれ、いろいろな事情で親戚の家から一家そ

ろって出ていかなければならなくなり、小さな納屋のような家に引っ越しました。それは雨漏り、すきま風は当たり前前のひどい家で、とても心細かったことを思い出します。貧しく、つらい思いも多かったですが、学校には助けてくれる先生もいたし、家に帰れば、父、母、妹がいて楽しく、安心して暮らせる場所がありました。今になって考えても幸せな時期だったと思います。

中学を卒業してすぐに、段ボール製造の会社に勤めましたが、1年足らずで周りの人とうまくいかなくなり、体調を崩してそのままやめてしまいました。それで実家から、あゆみ園という通所の施設に通い作業をしていましたが、父が病気で亡くなり、今度は母が、一緒に買い物をしている途中で倒れ、入退院を繰り返しましたが、結局亡くなってしまいました。妹は障害が重く、3歳の時、小児病院に入りそのままそこで生活しており、一人ぼっちになってしまいました。私がちょうど37歳の時のことです。

突然に私の一人暮らしがはじまりました。そして母がいなくなって初めて、その存在の大きさに気が付きました。なぜなら、食べるものの用意も、光熱費の支払いも、そのほかの手続きも、とにかく身の回りのことを、何をどうしたらいいか、まったくわからなかったからです。本当に、厳しかったです。さらに、街中で助けてくれた人が、親切にお金の借り方を教えてくれ、私はどんどん借金を増やしてしまいました。

1年もたたないうちに生活が崩れてしまい、家には毎日借金の取り立ての怖い人がくるようになりました。なにより、怖かったのは、そんなとき誰にも相談できなかったことです。そうして、早く立ち直りたい、と、とてもしんどい生活を送っていた時、通っていた施設の園長先生が入所のできる施設を見学に連れて行ってくれ、入所の手続きを手伝ってくれました。

それから私の入所施設での生活がはじまりました。皆さんは入所施設といえどどのように思われますか。自由のない、しばられた、厳しいイメージをもたれる方もおられると思いますが、その時の私は、正直ホッとした気持ちでした。それは、みどり園に入り、身の回りのことを教えてもらい、手伝ってもら

いながらできたことで、生活<sup>せいかつ</sup>落ち着<sup>お</sup>いたからです。

そこでの、生活<sup>せいかつ</sup>を少し紹介<sup>すこ</sup>したいと思<sup>おも</sup>います。

まず、毎日<sup>まいにち</sup>6:30に起きて、それから朝食<sup>ちようしよく</sup>の配膳<sup>はいぜんとうばん</sup>当番<sup>とうばん</sup>があります。7:00に食事<sup>しょくじ</sup>をとって、身支度<sup>みじたく</sup>を済<sup>す</sup>ませると、8:00に作業<sup>さぎょう</sup>に出<sup>で</sup>かけます。といって私は軽作業<sup>けいさぎょう</sup>が多く、宿泊棟<sup>しゆくはくとう</sup>を出ればすぐ左<sup>ひだり</sup>に作業棟<sup>さぎょうとう</sup>が見えています。

そこで、8:30から15:00までビーズ通<sup>とお</sup>しや部品入<sup>ぶひんい</sup>れの作業<sup>さぎょう</sup>をしていました。作業<sup>さぎょう</sup>が終わってから、洗<sup>せん</sup>たくやそうじをして、17:00からは夕食<sup>ゆうしよく</sup>が始<sup>はじ</sup>まります。夕食<sup>ゆうしよく</sup>が終わると週<sup>しゅう</sup>に3回<sup>かい</sup>はお風呂<sup>お風呂</sup>、お風呂<sup>お風呂</sup>のない日はテレビをみたり、ロビーで話<sup>はな</sup>したりしていました。そうして、21:00には消灯<sup>しょうとう</sup>です。年<sup>ねん</sup>に2~3回<sup>かい</sup>は部屋替<sup>へやが</sup>えがあり、ひとり部屋<sup>べや</sup>から3人部屋<sup>にんべや</sup>までいろいろな部屋<sup>へや</sup>にかわります。

確かに毎日<sup>まいにち</sup>規則<sup>きそく</sup>正<sup>ただ</sup>しく暮<sup>く</sup>らさなければなりませんし、お風呂<sup>お風呂</sup>の日<sup>ひ</sup>も決<sup>き</sup>まっていますし、それから外出<sup>がいしゅつ</sup>するには何人<sup>なんにん</sup>もの職員<sup>しょくいん</sup>の許可<sup>きょか</sup>が必要<sup>ひつよう</sup>ですので、厳<sup>きび</sup>しいところもあります。「自由<sup>じゆう</sup>」を100満点<sup>まんてん</sup>だとすれば、ちようど50点<sup>てん</sup>ですかね。

けれど、一人<sup>ひとり</sup>暮らし<sup>ぐ</sup>で心細<sup>こころぼそ</sup>い思<sup>おも</sup>いをした私<sup>わたし</sup>には、まわり<sup>まわり</sup>にいつも誰<sup>だれ</sup>かがいてくれるという安心感<sup>あんしんかん</sup>の方が嬉<sup>うれ</sup>しかったのです。一番<sup>いちばん</sup>思<sup>おも</sup>い出<sup>で</sup>に残<sup>のこ</sup>っているのは、園<sup>えん</sup>のみんな<sup>みんな</sup>で旅行<sup>りょこう</sup>に行<sup>い</sup>ったことで、とても楽<sup>たの</sup>しかった記憶<sup>きおく</sup>があります。

そこでの生活<sup>せいかつ</sup>が慣<sup>な</sup>れてきたころ、担当<sup>たんとう</sup>してくれていた職員<sup>しょくいん</sup>さんが、外<sup>そと</sup>の作業所<sup>さぎょうじょ</sup>に働<sup>はたら</sup>きに行<sup>い</sup>ってみない?と声<sup>こゑ</sup>をかけてくれました。それが今<sup>いま</sup>働<sup>はたら</sup>いている、ひかりエコ作業所<sup>さぎょうじょ</sup>です。

ひかりエコ作業所<sup>さぎょうじょ</sup>はパチンコ、スロット、パソコンなどの機<sup>き</sup>械<sup>かい</sup>を解<sup>かい</sup>体<sup>たい</sup>してリサイクルする仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>をしています。

電動<sup>でんどう</sup>ドライバ<sup>つか</sup>ーやペンチ<sup>つか</sup>を使って、金属<sup>きんぞく</sup>やプラチック<sup>こま</sup>を細<sup>こま</sup>かく分<sup>ぶん</sup>解<sup>かい</sup>して分<sup>ぶん</sup>別<sup>べつ</sup>しています。ひかりエコ作業所<sup>さぎょうじょ</sup>で働<sup>はたら</sup>くようになって、自<sup>じ</sup>転<sup>てん</sup>車<sup>しゃ</sup>での通<sup>つう</sup>勤<sup>きん</sup>はしんどくなくなったけれど、外<sup>そと</sup>に出<sup>で</sup>かけられることは気<sup>き</sup>分<sup>ぶん</sup>が違<sup>ちが</sup>って嬉<sup>うれ</sup>しかったです。それからお給<sup>きゅうりょう</sup>料<sup>りょう</sup>がもらえることが嬉<sup>うれ</sup>しかったです。

5年間<sup>ごねんかん</sup>入<sup>にゅう</sup>所<sup>じょ</sup>施<sup>せつ</sup>設<sup>せつ</sup>で生活<sup>せいかつ</sup>したのち、グルー<sup>た</sup>ーホ<sup>め</sup>ームでの生活<sup>せいかつ</sup>を試<sup>ため</sup>してみない

か？というお話をいただき現在のグループホームでの生活をはじめました。

グループホームでも規則正しい生活を送っています。

朝、6：30には起きて8：00には自転車でひかりエコ作業所に出かけます。

16：00に仕事が終わると、帰りにスーパーで夕食の材料を買って帰ります。

ホームに帰ってそうじと洗たくを済ませると、世話人さんやみんなと夕食を作ります。食事がすむと自由な時間で、お風呂に入ったり、部屋でゆっくりしてかまいません。でもみんな共同の部屋に残っておしゃべりをしているので、21：00くらいまではいつもにぎやかです。

お風呂からあがると部屋でテレビをみます。今年からはスカイパーフェクトTVをつけて、いつでも好きな番組が見られるので、落ち着けます。

グループホームは何人かの仲間と普通の家で共同生活をするところです。夕方や朝の時間には、世話人や施設の職員が身の回りのことを手伝ってくれたり、見守ってくれたりします。財産については、成年後見制度を利用して、補助人さんが月に一度、管理を手伝ってくれています。けれど毎日の食事の用意や買い物や洗濯、それから掃除やお金の計算など、自分ですることがたくさんです、それから、地域の掃除や当番など入居者の仲間たちと協力しなければならぬこともあります。

それでも、私はここにきて、生活の幅が広がったと思っています。自由度でいえば、70点です。ホームには規則はありませんが、周りの人には気を配らなければなりません。そのため私たちは、週一回みんなで集まってどうすれば、みんな納得して暮らせるかを話し合っています。自分で何でもしなければならぬことは、大変な時もありますが、周りの人に支えられることで、少しずつ挑戦することができると思います。

今回、自分の将来の暮らしについて考えてみたとき、私は、これからも今の生活を続けていきたいと思いました。

ひとりで暮らしていると、何かあったとき、体を壊してしまったときに不安がありますし、どうすればいいか、困ってしまうからです。ここではもしもの



時にも助けてくれるし、それに、ホームの仲間がいるので心強いです。

今、がんばっていることは、料理です。

ホームでは夕食当番を決めて、調理をしています。みんなの都合が悪い時や仕事で遅い時には、進んで取り組むようにしています。最近は大げらや、から揚げを覚えたので、今度はハンバーグをひとりで作れるようになりたいです。料理することは楽しいですし、みんなが美味しいと言ってくれた時はとてもうれしいです。

それから、ここでは自分の好きなおところに自由に出かけることもできます。

私は宝塚の観劇が好きなので、自分で計画を立て、ツアーを予約して、年に2回は本場のステージを見に行きます。最近ホームのみんなが、それに興味をもってくれて、今度みんなで宝塚に行こう、と言っているのが、とても楽しみです。

長くなりましたが、私はいろいろなところで生活してきて一番大切だと思うことは、一人じゃ生きていけないということです。

私が困ったときにはいつでも誰かが手を差し出してくれ、支えてくれました。だから私は今日まで頑張って、こられたのだと思います。皆さんに感謝の思いでいっぱいです。

最後に宝塚の公演でも有名な、「ベルサイユのばら」の中から私の大好きな言葉を紹介したいと思います。

「あなたがいれば私は生きられる、いや、生きていたい」

私も今まで助けられただけ、支えられただけ、少しでも誰かの力になればと思います。

皆さん、最後まで聴いていただきありがとうございました。

東日本大震災の前、私は、さくらホームというグループホームで5人で生活していました。高校卒業して、ワークセンターさくらに通所し始めました。ワークセンターさくらでは段ボール貼りやこんにやく製造、加工味噌づくりをしていました。友達の中にグループに入居している人が沢山いました。自分も親元から自立してグループで仲間と生活を送りたいと思いました。さくらホームは、桜並木が有名な夜ノ森というところにあり、近くには、コンビニやレンタル屋もあり便利なところでした。週末に帰省し家族と一緒に買い物したりドライブに行ったりしていました。他に本人活動の仲間と交流することも楽しみでした。又世話人さんが講師となって料理教室で作り方を教えてもらいました。

3・11震災がおきました。さくらホームは大きなゆれでテレビや食器など散乱していたのでとても大変な状況でした。さくらホームは、建物が倒れると思ふ不安になっていたところ、ワークセンターさくらへ避難して、その夜は入所施設光洋愛成園で一泊とまりました。

「東電が危ない」と放送がありました。入所施設の皆さんとグループの皆さんと支援者の方と一緒に急いで避難しました。

どこの避難所も沢山の人がいっぱいでした。ようやく、三春町のさくら湖観察ステーションに落ち着くことができました。そこで一か月利用者も支援者も一緒に雑魚寝をして生活しました。

その後国立のぞみの園へ移動し現在も生活しています。両親と姉夫婦や甥達は福島県いわき市に避難しています。国立のぞみの園はとても自然に恵まれた環境の良いところです。しかし集団生活のため自分の時間がなくてとてもストレスがたまっていました。

平成24年4月から富士会館の中の個室をグループホームとして使わせてもら  
い一人の時間を過ごすことが出来るようになりました。

高崎の町にも少しずつ慣れて、ぐるりんバスで、高崎駅周辺に外出できるよ  
うになりました。そんな時本人会の仲間に「自分のやりたい事のためには努  
力をしないとダメだ」と励まされて色々考えました。自分は何がやりたかつ  
たのか？

そうだ、母のように福祉の仕事がしたいのが夢だったと思いました。母は福  
島で老人福祉の仕事をしています。私は、母に憧れています。支援者の方に相  
談し高崎の専門学校へ通い介護の勉強をすることにしました。

一人で通学し、体験実習し試験勉強もしました。難しかったけれど頑張って  
介護任者研修を終了し資格を取りました。とても嬉しかったです。自分もやれ  
ば出来ると自信を持ちました。今は、同じ法人の障害者の入所施設で介護のボ  
ランティアを時々しています。まだ避難生活は続いています。来年には法人の  
みんなで福島県に戻れることになりました。その時は、新しいグループホーム  
で又仲間と生活したいと思います。そして介護の体験実習などを頑張ってい  
つかは老人介護の仕事が出来たらいいなと思っています。

困ったときは、支援者の方や相談員の方に相談しながら 一歩ずつ夢に近づ  
けていきたいと思っています。仕事がちゃんとできて就職できたら、グループホー  
ムから出て、アパートでひとり暮らしをしてみたいと思っています。

## 第2分科会 ケアホームの体験入居

おおさか  
大阪ともだちの会

どい  
土居

とる  
徹

ぼく へいせい ねん がつ か たいけんにゅうきよ  
僕は平成26年5月9日ケアホームの体験入居してきました。グループホーム  
む たいけんにゅうきよ  
に向けての体験入居です。

たいけんにゅうきよ おも ぼく かよ さぎょうしょ ともだち なか  
体験入居してみようと思ったのは僕の通っている作業所のお友達の中にケア  
ホームで生活している人、一人で暮らしている人がいます。お友達からケア  
ホームでの生活一人暮らしの生活を聞いて僕も自立したいと思ったからです。

じりつ さぎょうしょ しょくいん そうだん どい じりつ  
自立したいことを作業所の職員さんに相談したら土居さんが自立したいという

かんが ひがしおおさか ふ せ そうだんじよ じりつ しえん じぎょう  
考えがあるのならということで東大阪布施まちかど相談所という自立支援事業

しょ しょうかい ぼく つき かい う きよ  
所を紹介してくれました。僕はそこで月1回モニタリングを受けています。去

ねん う いちねんかん う こと かんが  
年から受けています。一年間受けてみてもうそろそろグループホームの事を考

えてみようということでまず最初は体験入所ということで東大阪市内のさくら

ふく しかい じぎょうしょ いとな たいけんにゅうしょ  
福祉会という事業所が営んでいるハピネスというケアホームで体験入所しまし

た。ケアホームは僕の家から歩いて3分の所にある5階建てのマンションの3

かい かい しつ か いとな ぼく と かい かい  
階と2階で1室を借りて営んでいます。僕の泊まったケアホームは3階と2階

ともグループホームで2室とも部屋3つあって5人くらいで暮らしています。

ぼく かい しゅくはく あさ はん ゆう はん かい た  
僕は2階で宿泊しました。朝ご飯と夕ご飯は3階で食べました。

ケアホームの宿泊はちょっと不安でしたがお母さんお父さんから頑張ってみ

ればという励ましもあって宿泊してみようと思いました。少し不安もありまし

たがケアホームのお世話人さん、利用者さん、職員さん、みなさん優しくて親

せつ あんしん かい しゅくじ や きゅう はなし  
切だったので安心しました。3階で食事をしながら野球の話やテレビヒーロー

の話をしてながら話の花を咲かせました。食べ終わって2階で利用者さんと職員

さんとテレビをみながら話をしました。11時頃に就寝しました。朝は7時頃起

しょう かい じごろあさ はん た ゆうしゅく にく ちょうしゅく しゅく や  
床しました。8時頃朝ご飯を食べました。夕食は肉うどん朝食は食パンと野

さい 菜サラダとコーヒー牛乳とヨーグルトでした。ケアホームのご飯は美味し  
かつ たです。NHKの朝ドラを見ながら朝食をとりました。ニュースを見ながらお  
はし 話をしているうちに9時半にお父さんがむかえに来て家に帰りました。これで  
いっばくふつか 一泊二日の体験入居は終わりました。僕は体験入居してよかったです。ケア  
ホームでは自分でお風呂をわかしたり洗濯したり部屋を掃除する人もいま  
し た。僕はグループホームに向けて、洗濯や掃除何でも自分自身で出来るように  
がんば 頑張っていきたいと思っ  
おも っています。

# だい ぶん か かい 第3分科会

## テーマ / <sup>ほんにんかつどう</sup>本人活動

---

<sup>し かいしゃ</sup> 司会者	<sup>ばんどう</sup> 板東	<sup>しんじ</sup> 真治	<sup>やすぎし</sup> (安来市)
	<sup>しのだ</sup> 篠田	<sup>よしこ</sup> 佳子	<sup>やすぎし</sup> (安来市)
<sup>はっぴょうしゃ</sup> 発表者	<sup>もりした</sup> 森下	<sup>かずと</sup> 和人	<sup>まつえし</sup> (松江市)
	<sup>まえかわ</sup> 前川	<sup>しんいち</sup> 真一	<sup>おおさかふ</sup> (大阪府)

<sup>かんこくはったつしょうがいしゃ</sup> <sup>かそくきょうかい</sup> <sup>かん</sup> <sup>こく</sup>  
韓国発達障害者家族協会 (韓国)

## <sup>とうぎ ないよう</sup> 【討議内容】

---

- ・ <sup>ほんにんかつどう</sup>どんな本人活動をしていますか
- ・ これから <sup>かつどう</sup>どんな活動をしてきたいですか
- ・ <sup>ほんにんかつどう</sup>本人活動で <sup>くふう</sup>工夫していること、<sup>くるう</sup>苦勞したこと
- ・ <sup>じぶんたち</sup>自分達でできること、<sup>しえんしゃ</sup>支援者に <sup>きょうりよく</sup>協力してもらうこと

## 第3分科会

# まつえし ほんにんぶかい かつどう 松江市の本人部会の活動について

しまねけんまつえして いくせいかい かいがいちよう  
島根県松江市手をつなぐ育成会つどいの会会長

もりした かずと  
森下 和人

しまねけんまつえして いくせいかいほんにんぶかい かい かいちよう  
島根県松江市手をつなぐ育成会本人部会の「つどいの会」で会長をしている  
もりしたかずと かい ちてきしょうがい はたら なかま かい たの きゅうじつ  
森下和人です。この会は知的障害をもつ働く仲間たちの会です。楽しい休日  
かつどう はな あ かつどう  
の活動を、いろいろ話し合いながらやっています。この活動は、「コスモスの  
かい かつどう  
会」のボランティアさんや松江市手をつなぐ育成会のお母さん方、又松江市社  
かいふくしきょうぎかい しえん  
会福祉協議会に支援してもらっています。

つどいの会は、平成5年に、8人の仲間と松江市社会福祉協議会の相談員が  
はな あ はたら せいねん さいしょ ころ かい  
話し合って、「働く青年のつどい」としてスタートしました。最初の頃は、会  
いん すうにん すく かんたん  
員は10数人と少なく簡単なボウリング、カラオケとかやりました。そのうちだ  
かいいん へいせい ねん かいちよう ふくかいちよう やくいん き  
んだんと会員がふえてきました。平成9年から会長、副会長、役員などを決  
め、総会のやり方も充実してきました。そして平成16年に手をつなぐ育成会の  
そうかい かた じゅうじつ へいせい ねん て いくせいかい  
本人部会として位置付けられることになりました。その頃になると、お楽しみ  
ほんにんぶかい いちづ ころ たの  
の活動だけでなく勉強会やボランティア活動なども計画できるようになりまし  
かつどう べんきょうかい かつどう けいかく  
た。平成21年度から、活動への参加が難しい人たちのために「みどりの会」が  
へいせい ねん ど かつどう さん か ひづか ひと かい  
新しくでき、「働く青年のつどい」は「つどいの会」と名前を変えました。現  
あたら はたら せいねん かい なまえ か げん  
在つどいの会53人、みどりの会61人、合わせて114人の仲間と、30人の支援者  
ざい かい にん かい にん あ にん なかま にん しえんしゃ  
で活動しています。

ここからは活動の紹介をします。まずぼくたちの活動の1年は、4月のつど  
かつどう しょうかい かつどう ねん がつ  
いの総会からはじまります。総会は会員のほとんどが参加します。会長と副会  
そうかい かいいん さん か かいちよう ふくかい  
長は、前もって立候補者をつのり、演説をした後、選挙で決めます。それか  
ちよう まえ りっこう ほしや えんぜつ あと せんきよ き  
ら、年5～6回の活動計画をみんなで話し合います。それぞれの活動は、希望  
ねん かい かつどうけいかく はな あ かつどう きぼう  
する人が当番をします。当番は行事の内容を決めて案内状を出したり、当日の  
ひと どうばん どうばん きょうじ ないよう き あんないじょう だ どうじつ



世話係りをします。

活動を、大きく5つに分類してみました。

1つ目は、なかまどうしが仲良く楽しみながら遊んだり、研修したりする活動です。日帰り旅行、宿泊研修、新春パーティ、料理活動などがあります。

(スライドを見ながら、それぞれの活動の様子を説明)

2つ目は、自分たちの生活を よりよくするための勉強会です。テーマを決めて、例えば「いじめについて」「親なき後、これからの生活をどうするか」などをみんなで真剣に語り合うので、お互いに共感することができてとても勉強になります。

見学では、消防署、警察署、グループホームへ行きました。

(スライドを見ながら説明)

3つ目は、知的障害の人たちの「発表の場」づくりです。福祉センターの大ホールで発表しますが、みんなそれぞれが歌やおどり、意見発表、ピアノやドラム演奏、劇など2～3か月かかって準備します。たくさんのボランティアの人に協力してもらっています。

(スライドを見ながら説明)

4つ目は、地域に役立つためのボランティア活動です。自分たちが出来ることで役立つことはないかと話し合っ、宍道湖岸のごみひろいや、福祉センターの車椅子掃除、老人ホームの床のワックスがけ、利用者さんとの交流などをやってきました。

(スライドを見ながら説明)

5つ目は、いろいろな人との交流です。警察学校の学生さんとの交流、国際交流、手をつなぐ育成会の中四国大会、全国大会への参加、県内知的障害者



ほんにんかつどう とうりゅう  
本人活動グループとの交流などがあります。

(スライドを見ながら説明)

その他本人部会では、なかまの広場新聞をつくっています。なかまの広場新聞は、行事の感想文とか、役員の見紹介とか、各クラブの情報とスポーツ大会の結果などをのせています。

また、サークル活動もしています。スポーツクラブ、手芸クラブ、歌の会、ドジョウすくいクラブ、3B体操、クッキングクラブがあります。

ぼくはつどいの会に入って、大きく変わりました。友だちが少なかったけどつどいの会に入っているいろんな友だちができました。悩みや困ったことを相談したり、ボウリング、映画、カラオケに行ったりしています。つどいの会は、平成9年から選挙で会長、副会長を選ぶようになりました。ぼくは、初めの頃は、なかなか会長になれなかったけど、平成20年度からは、連続で会長に選ばれています。僕は今、A型事業所の「パックしまね」で配達の手先の仕事をしています。ぼくの生活は、仕事と本人部会の活動でとても充実しています。

ぼくと同じように、この会に入って友だちができて喜んでる人がたくさんいます。「休日に仲間と会うのがとても楽しみ」という人もいます。学校時代にいじめにあって人が信じられなかったけど、この会の仲間に出会って人が信じられるようになったという人もいます。

これからは、もっと若い人にもこの会に入ってもらいたいです。そのためぼくが養護学校に本人部会のことについて説明に行ったりしています。できるだけ支援者の手を借りずに自分達でできることを増やしていきたいです。ぼくは、本人部会に入ってだんだん成長していったようにおもいます。これからもつどいの会とみどりの会、いっしょに本人部会として頑張っていきたいとおもいます。

お手元に本人部会のしおりをおくばりしています。目を通してもらうとうれ

しいです。これでおわります。ありがとうございました。

## 第3分科会

# 「大阪ともだちの会について」

おおさか かい  
大阪ともだちの会相談アドバイザー

まえかわ しんいち  
前川 真一

おおさか かい おおさか ふない おおさか しない かつどう ほんにん かい だい  
大阪ともだちの会とは、大阪府内と大阪市内で活動をしている本人の会の代  
ひょうしゃ あつ れんらくかい かつどう かいし なか かいごう いくせいかい ほん  
表者が集まり「連絡会」として活動を開始し、その中での会合で、育成会の本  
にん かい かつどう い おも へいせい ねん がつ にち おおさか  
人の会として、活動をして行こうと思い、平成11年10月31日に大阪ともだちの  
かい ほっそく げんざい どうろくしゃ かいじん めい しえんしゃ めい ごうけい めい  
会が発足しました。現在の登録者（会員）は54名と支援者4名（合計58名）  
かつどう  
で活動をしています。

また、平成23年4月からは育成会の支部となり再スタートしました。

かつどうないよう そうかい ひがえ りょこう こうりゅうかい なら こうどううんどうかい べんきょうかい いくせいかい おお  
活動内容は、総会\*日帰り旅行\*交流会\*奈良との合同運動会\*勉強会\*育成会大  
さかたいかい かくぎょうじ やくいん ふたん へ ため つぎ ぎょうじ たんどう き  
阪大会などです。各行事には役員の負担を減らす為に月ごとに行事担当を決め  
て、それぞれ責任をもって頑張っています。今年度は楽しい事を先に決めて、  
こうはん べんきょうかい はな あ どうかい じっこう いんかい おおさかたいかい  
後半は勉強会や話し合いになっています。当会は実行委員会があり大阪大会の  
いんかい さん かしゃ ひずか じぶんたち やく た こと たの おも  
委員会は参加者に難しくなく、自分達に役に立つ事と、楽しく思いやりのある  
ないよう きかく けつぎ ぶん き  
内容で企画と決議文を決めています。

あおぞらしんぶん いんかい きじ ないよう よ こと かんが かい  
青空新聞の委員会は記事の内容やイラストと読みやすいとの事を考えて会の  
かつどうないよう じょうほう の  
活動内容の情報を載せています。

あおぞらしんぶん はじ ころ ほんにん きじあつ へんしゅう いま しえんしゃ  
青空新聞は初めの頃、本人が記事集めと編集をしていましたが、今は支援者  
がほとんどしてもらっているのも、やり方を変えて行った方がいいと感じてい  
ます。

これからは、みんなの意見を聞き入れ、少しずつ難しい事をチャレンジして  
いく事と多くのひとに参加してもらおう方向に活動をしていく方針です。また、  
かつどう い なか くろう つ いけん こと  
活動をして行く中で苦労は付きもので、みんなの意見がまとまらない事があり  
ますが、どうしたらまとまるかは工夫と打ち合わせにあります。過去に役員の  
ふたん かいちよう めい めい そうだん めい めい  
負担があり、会長を1名から2名にし、相談アドバイザーは3名から5名にし

ています。相談アドバイザーに関しては、役員のサポートや全体のサポートを  
してもらっています。

「自分達で出来る事は何でも自分達しよう」と発足当時からの目標にして活動  
をしているので、出来ない所だけ支援者をお願いして全員で難問を突破できる  
よう活動していきます。

## 第3分科会

はったつしょうがいしゃ きょういくにんぎょうげきだん  
**発達障害者の教育人形劇団**

‘**かっこういい友達**’<sup>ともだち</sup> <sup>しょうかい</sup>を紹介します。

かんこくはったつしょうがいしゃ かぞくぎょうかい  
**韓国発達障害者家族協会**

### 1. 作られた理由<sup>つく りゆう</sup>

- <sup>にんぎょうげき</sup> 人形劇に<sup>そしつ</sup>素質がある<sup>はったつしょうがいしゃ</sup> 発達障害者が<sup>にんぎょうげきだんいん</sup> 人形劇団員として<sup>しょくぎょうかつどう</sup> 職業活動<sup>を</sup>します。
- <sup>はったつしょうがいしゃ</sup> 発達障害者も<sup>にんぎょうげきはいゆう</sup> 人形劇俳優との<sup>すてき</sup> 素敵な<sup>しょくぎょう</sup> 職業を持つことができることを<sup>ひとびと</sup> 人々にみせます。
- <sup>はったつしょうがいしゃ</sup> 発達障害者が<sup>はったつしょうがいしゃ</sup> 発達障害者を<sup>おし</sup> 教えることができることを<sup>ひとびと</sup> 人々に<sup>おし</sup> 教えます。

### ※かっこういい友達<sup>ともだち</sup>のメンバー

			
박지은 (パク・ジウン) しょくぎょうさいかつし 職業再活士	백지승 (ベク・ジスン) えんしゆつか 演出家	신용철 (シン・ヨンチョル) だんいん 団員	이소정 (イ・ソジョン) だんいん 団員
			
정승환 (チョン・スンファン) だんいん 団員	조태환 (チョ・テファン) だんいん 団員	김난이 (キム・ナンイ) だんいん 団員	

## 2. 活動の過程

- 2010年 6月に教育人形劇団‘かつこういい友達’が作られました。  
性教育をテーマに人形劇の公演を7回実施しました。
- 2011年 性教育人形劇の公演を45回実施しました。
- 2012年 性教育人形劇の公演を100回実施しました。  
春川人形劇際アマチュアコンテストで特別賞をもらいました。
- 2013年 性教育人形劇の公演を95回実施しました。  
永登浦区で実施された障害者ドリムコンサートで最優秀賞をもらいました。

## 3. 公演の紹介

- 性暴力予防教育の人形劇‘大切な私の体’  
人形劇は「大切な私の体」をちゃんと守る方法を教えます。
- 異性との交際と性マナー教育に関する人形劇「あなたと私」  
異性の友達と付き合う時、好きになった時お互いが守らなければなら  
ないマナーに対する内容です。  
相手の同意無しで触ったりからかったりする行動はその人の気分を悪くす  
る行動です。
- ‘かつこういい友達’が教える発達障害者への理解教育  
‘かつこういい友達’は発達障害者です。学生時代に障害者ということで  
虐められたり、からかわれたりしました。それでかつこういい友達は後輩  
の発達障害者の学生たちが障害がない学生たちとも仲良く生活ができるよ  
う教育しています。  
‘かつこういい友達’は障害がない学生らに自分たちが公演している映像  
をみせます。そして、発達障害者に対してよく分かってもらえるよう人形  
劇を見せます。

4. 公演の写真  
こうえん しゃしん



オープニングの説明  
せつめい



性教育の人形劇(1)  
せいきょういく にんぎょうげき



性教育の人形劇  
せいきょういく にんぎょうげき



観客と仲良く  
かんきゃく なかよく



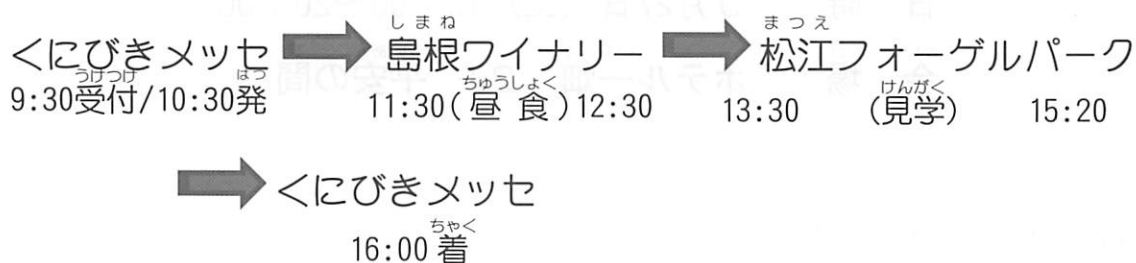
人形劇の体験  
にんぎょうげき たいけん



団体の記念写真  
だんたい きねんしゃしん

だい ぶん か かい おも で かんこう あんない  
～第4分科会「思い出づくり」観光のご案内～

しまね まつえ  
島根ワイナリーと松江フォーゲルパーク



さん か ひ えん つぎ そ ほごしゃ しえんしゃ どうがく  
参加費：6,000円【付添いの保護者・支援者も同額】

さん か も う し こ が た じ ぜ ん ち ょ う さ ひ ょ う き に ゅ う う え さん か も う し こ み ょ う し と も そ う ふ  
※参加申込みされる方は事前調査表をご記入の上、参加申込用紙と共にご送付ください。

さいしやうさいこうじんいん めい  
※最少催行人員：30名

ほしゅうていいん めい もうしこみじゆん うけつけ  
※募集定員：350名 お申込順に受付けさせていただきます。

かんこうあんない  
観光案内

しまね  
○島根ワイナリー

せいぞうこうてい おりょうけんがく じょうぞうかん  
ワインの製造工程を無料見学できる「ワイン醸造館」が  
あり、しまねけんない とくさんひん  
島根県内の特産品やワインを使ったオリジナル  
しょうひん そろ  
商品も揃うワイナリー。

ちゅうしょく たの  
昼食はバーベキューをお楽しみください。



まつえ  
○松江フォーゲルパーク

せかい せな とり こうえん はな てんじおんしつ ねんじゅうまんかい  
世界でもめずらしい花と鳥の公園。花の展示温室では、年中満開  
の数千種のペゴニア、フクシアを中心とする花の別天地が楽し  
め、2つの鳥の温室をはじめ園内各所では約90種600羽の鳥たち  
と出会える。車椅子用エレベーター・車椅子用トイレも完備して  
います。



画像はイメージです



だい かいぜんこく て いくせいはいれんごうかいぜんこくたいかいしま ね たいかい  
第1回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会島根大会

ほん にん たい かい こうりゅう かい  
本人大会交流会プログラム

にち じ がつ にち ど 9月27日(土) 18:00~20:00  
かい じょう 会場 ホテル一畑 2F へいあん ま 平安の間

17:30 うけ つけ  
受 付

18:00 はじ  
始まりのあいさつ

かん ばい  
乾 杯

19:00 アトラクション

19:45 じ き かいさい ち  
次期開催地あいさつ

ちゅうごく し こくたいかい しゃかいふくし ほうじん か がわけて いくせいかい  
中国四国大会 社会福祉法人香川県手をつなぐ育成会

ぜんこくたいかい しゃかいふくし ほうじん な ご や て いくせいかい  
全国大会 社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会

19:55 おわ  
終りのあいさつ

20:00 へい かい  
閉 会

# 本人大会全体会プログラム

日 時 9月28日 (日) 9:00~12:00

会 場 くにびきメッセ 1F 大展示場

- 9:00 開会の言葉  
大会実行委員長あいさつ
- 9:10 分科会報告  
第1分科会「働く」  
第2分科会「暮らす」  
第3分科会「本人活動」
- 9:40 本人大会決議  
決議文朗読
- 9:45 休憩
- 10:00 夢ステージ  
石見神楽ほか
- 11:50 次期開催地あいさつ  
中国四国大会 社会福祉法人香川県手をつなぐ育成会  
全国大会 社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会
- 12:00 閉会

# ほんにんたいかいけつぎぶん (案) 本人大会決議文

1. 私たちのことは私たちの意思を尊重してきめてほしい。
2. 療育手帳の名前や内容を全国共通にして、県外に引っ越ししてもそのまま使えるようにしてほしい。
3. 障害者総合支援法など暮らしにかかわる制度や福祉サービスの内容をわかりやすく説明してほしい。
4. 働きたいと願う人が働けるように、障がいに応じた働く場所を増やしてほしい。給料や工賃を増やしてほしい。そのお金を私たちが上手につかえるように支援をしてほしい。
5. 家族がいないとき、診察に付き添ったり、病気や薬をわかりやすく説明したりするなど、私たちの障がいに合わせた支援をしてほしい。
6. 私たちがだまされたりトラブルに巻き込まれたりした時、味方になってくれる弁護士や土日も利用できる相談窓口を増やしてほしい。
7. 障がいがあるという理由で、差別をしないでほしい。

私たちは安心して暮らし続けるためにこれらのことが実現されるように願っています。また私たちも社会の一員として、自分たちができるところと取り組んでいきます。以上ここに決議します。

2014年9月28日

第1回全国手をつなぐ育成会連合会  
全国大会島根大会 本人大会参加者一同